

目 次

I. 総括研究報告

新型コロナウイルス感染症を踏まえたデュアルユース性が懸念される 公衆衛生研究の国際動向及び倫理規範・監督体制確立のための研究	1
研究代表者 三成 寿作 (京都大学 iPS細胞研究所)	

II. 分担研究報告

1. 生命科学に関するデュアルユースに関する分析	4
研究分担者 木賀 大介 (早稲田大学 理工学術院)	
2. 感染症研究におけるデュアルユース問題に関する教材の開発研究	10
研究分担者 花木 賢一 (国立感染症研究所 安全実験管理部)	
3. 国内外のバイオセキュリティ及びデュアルユースに関する倫理規範等の研究	13
研究分担者 河原 直人 (九州大学病院 ARO次世代医療センター)	
4. 社会化するデュアルユース概念に応答しガバナンスの基盤構築に資する 教育・コミュニケーションとは	16
研究分担者 川本 思心 (北海道大学 大学院理学研究院)	
5. パンデミックのリスク評価、デュアルユース問題の取り扱いに関する 科学者教育の現状分析、並びにePPP作成に係るGOF研究に関する考察	19
研究代表者 三成 寿作 (京都大学 iPS細胞研究所) 研究協力者 四ノ宮 成祥 (防衛医科大学校)	

III. 研究成果の刊行に関する一覧表	35
---------------------------	----